

典礼のしおり

o Domingo N.º 15

PANIB 発行 07 — 04 — 2024

復活節 第二主日 (神のいつくしみの主日)

兄弟姉妹の皆さん、今日、私たちは、聖霊の賜物と平和の賜物を受ける「神の慈しみの主日」を祝います。主に感謝を捧げましょう。主は善良で、その慈しみは永遠！ 復活された方は、死に打ち勝つて後、ご自分に従う人々と共に過ごされたように、ここに集まった私たちの共同体の内いらつしやいます。この典礼の中で、恐れに打ち勝つように私たちが勇氣づけ、連帯と分かち合いを励まし続ける主の復活への信仰を強めましょう。

集会祈願

あわれみ深い神よ、あなたは、キリストのとうとい血によってわたしたちをアがない、水と聖霊によって新しいのちを与えてくださいます。年ごとに主の復活を祝うわたしたちが洗礼の恵みを深く悟り、

信仰に生きることができますように。聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

* 解説

初期のキリスト教共同体模範は、神のみ言葉を生きようとする私たちを力づけ、喜ばせてくれます。そして、私たちが恐れを克服するのを助けます。喜んで神のメッセージを聞き取りましょう。

使徒たちの宣教

(使徒言行録 4・32 — 35)

信じた人々の群れは心も思いも一つにし、一人として持ち物を自分のものだと言う者はなく、すべてを共有していた。使徒たちは、大いなる力をもって主イエスの復活を証しし、皆、人々から非常に好意を持たれていた。信者の中には、一人も貧しい人がいなかった。土地や家を持つている人が皆、それを売って代金を持ち寄り、使徒たちの足もとに置き、その金は必要に応じて、おのおのに分配されたからである。

(詩編 118・1+2、16+17、22+23)

先・きようこそ神が造られた日、
喜びうたえ、この日をとともに。
全・きようこそ神が造られた日、
喜びうたえ、この日をとともに。

先・恵み深い神に感謝せよ。

そのあわれみは永遠。

イスラエルよ、叫べ。

神のいつくしみは絶えることがない。

全・きようこそ神が造られた日、

喜びうたえ、この日をとともに。

先・神の右の手は高く上がり、

その右の手は力を示す。

わたしは死なず、わたしは生きる、

神のわざを告げるために。

全・きようこそ神が造られた日、

喜びうたえ、この日をとともに。

先・家造りの捨てた石が、

隅の親石となった。これは神のわざ、
人の目には不思議なこと。
全・きようこそ神が造られた日、
喜びうたえ、この日をとともに。

使徒ヨハネの手紙 (一ヨハネ 5・1-6)

「愛する皆さん、」イエスがメシアであると信じる人は皆、神から生まれた者です。そして、生んでくださった方を愛する人は皆、その方から生まれた者をも愛します。このことから明らかのように、わたしたちが神を愛し、その掟を守るときはいつも、神の子供たちを愛します。神を愛するとは、神の掟を守ることです。神の掟は難しいものではありません。神から生まれた人は皆、世に打ち勝つからです。世に打ち勝つ勝利、それはわたしたちの信仰です。だれが世に打ち勝つか。イエスが神の子であると信じる者ではありませんか。

この方は、水と血を通つて来られた方、水と血によつて来られたのです。そして、霊はこのことを証しする方です。霊は真理だからです。

アレルヤ唱

アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。

トマよ、あなたはわたしを見たので信じた。見ないで信じる人は幸い。

アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。

ヨハネによる福音 (ヨハネ 20・19、31)

その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。そう言って、手とわき腹とお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」そう言うてから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」十二人の一人で、デイデイモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。

そこで、ほかの弟子たちが、「わたしたちは主を見た」と言うて、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。」さて八日の後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵をかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」トマスは答えて、「わたしの主、わたしの神よ」と言った。イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」このほかに、イエスは弟子たちの前で、多くのしるしをなさったが、それはこの書物に書かれていない。これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じてイエスの名により命を受けるためである。

信仰宣言

共同祈願

司・兄弟姉妹の皆さん、大きな信頼をもって慈しみ深い御父なる神に私たちたちの祈願を捧げましょう。
全・わが主よ、わが神よ！

1・キリスト教共同体のために祈りましょう。連帯性を強め、誰をも阻害化しない慈悲深く共同体となることが出来ますように。

全・わが主よ、わが神よ！

2・統治者をはじめ、社会において人々の世話をする責任あるすべての人々のために祈りましょう。彼らが生命が最も脅かされている所で熱心な命の擁護者となりますように。

全・わが主よ、わが神よ！

3・私たちが自身のため、私たちが共同体のために祈りましょう。何時も復活され方の現存に信頼して、無気力に打ち勝ち、信仰によって恐れを克服することが出来ますように。

全・わが主よ、わが神よ！

4・私たちの人生はまたたくまに過ぎて行きます。待

つことはありません。私たちが常に弱さの中の強さを求めて日常生活の課題に立ち向かい、人生の最大の意味を福音の中に見出すことが出来ますように。
全・わが主よ、わが神よ！

司・御父なる神よ、このすべての私たちの願いを主イエス・キリストの御名によってお受けください。
全・アーメン。

奉納祈願

神よ、あなたの民の供えものを顧みてください。信仰告白と洗礼によって新たないのちに生まれた人々が、まことのしあわせにあずかることが出来ますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。
アーメン。

拝領祈願

全能の神よ、主の死と復活を記念する秘跡にあずかったわたしたちが、いつもその恵みによって生きることが出来ますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。